

教育厚生部門

開発公社と一定の用途がついたことにより、今後は健全財政が保たれるのではないか。

質問 通学路の安全対策について、各小学校で要望を受け入れ、土木課・警察と合同の会議を行い、



奥州万年の森に植樹（今年の植樹祭より）

対策を実施し、結果をホームページ上で公表する。昨年から実施しているこのしくみを継続する考えは。

答弁 通学路の安全対策は、児童・生徒の安全を確保する上で重要なことであると認識している。今のしくみは、今後とも

継続する方向で検討する。
質問 奨学金における入学準備金の状況は。

答弁 入学準備金は2回に分けて申請を受け付け、1回目は7名の決定。内訳は県立高校1名で5万円。大学は6名で1人25万円、合計155万円貸与している。2回目は年度をこえて4月30日までの申請受付で、財政上は平成25年度になるが、8名の決定。県立高校2名で10万円。私立高校1名で10万円。専門学校1名で10万円。大学は4名で100万円、合計130万円となっている。

質問 21名が派遣された中学生海外派遣研修事業とは。

答弁 各学校の人数的な割合で、1名または多い所で4名となっている。その学校でもう少し希望がある場合は調整もしているが、今後この方向で進めたいと考えている。研修先はオーストラリア

のグレーターシェパートン市で、奥州市の姉妹都市であり、保護者の負担金は昨年度は19万円で、市としても同様の金額を負担している。

質問 医師確保対策における医師紹介業者等の訪問について。

答弁 医師が転職する場合、医師紹介業者を通して転職先を確保する事



平成25年度中学生海外派遣事業（グレーターシェパートン市）

例が多くなっている。奥州市も紹介業者に登録をして、市内医療機関への転職を希望する医師を紹介していただくようお願いをしている。仙台に支店を持つ業者が5つ、毎年3回位訪問している。仙台に支店がなく、東京に本社のある業者についても、昨年度は2回訪問し、お願いをしている。

質問 看護師・女性医師確保の観点から、24時間・365日事務所で預かってもらえ、安心して子育てができる施設が必要ではないか。

答弁 事業所内子ども保育については、重要な観点であり、水沢病院内でも検討をはじめている。

ただ、当院に限らず、奥州市全体に各医療機関があり、全市的な観点から検討が必要と考える。

産業経済部門

質問 家畜導入資金供給事業に関わる家畜の頭数はどれ位か、また条件面については。

答弁 平成24年度は19頭、1頭あたり4万6千円になる。

所有権は農協にあり、3年間の条件で農家に貸し付けている。元金を償還してもらい、利息分を補助している。

質問 牧草地の除染の進捗状況と汚染牧草の処理